

① この人とは嫌、なるべく離れていたいという気持ちがあったから、離婚を考えた。やっぱり全部が全部断れないし、だんだん妥協も出てくるし。そうすると味気ないよね。セックスって女性のリズムに合わせた方

隠れた離婚原因の第一位は
性の不一致と言われているが…

② 私は、どうしても欲しい自由とか、実現したい自分があったから離婚できた。
③ 私は違う。「欲しい」じゃなくて、「旦那はいい人じゃない」。ただそれだけだった。
④ うるさい親もとを離れたくて結婚したはいけど、妻ってさらに人格が認められない立場。しまったと思った時にはもう子どもがいたし、なしくずしに扶養されちゃった。それでも、「いつかは、いつかは」ってずっと思ってたなあ。ちょうどその頃あんふぁんてができて、飛び込んだのよね。
⑤ 15年を叩き壊しても離婚したかった？
⑥ (AF) そう(笑い)
⑦ 私は仕事もしてたし、「自分」ってのもしつかりあった。それで、結婚して「やっぱり違う」って気づいて、すぐに離婚したの。具体的には嫁と姑の問題もあったし、仕事をしていることに対する無理解もあった。心理的に夫離れしてる女性、あるいは自立してる女性を認められる男性かどうかで、離婚か否かは決まると思う。

がうまくいくものなんだって。でも、実際は結婚生活の中で、妻は夫の要求に応えるべきとされている。
② 法律的にもハッキリと「妻の義務」と規定されているんだって。
③ 経済的なものと引換えにガマンしてる部分は大きいよね。
④ 私は離婚後再婚したんですが、セックス自体は前の旦那のが上手かった。それでも当然だけど今の相手のがずつといいよ。性の一致って何？ 結局は気持ちの一致でしかあり得ないんじゃない。
⑤ うちの場合、性欲が強い同士で性が完璧に一致してる、これならきつとよくいくぞと思ってる。結婚したけど、結局離婚することになった。彼とのセックスと、結婚生活には大きなギャップがあったのね。
⑥ 結婚って、男にしてみればほしい時にいつでもできる便利なモノみたい。その中で女は、したくない時にすることに慣れていかされる。でも私の場合、ある時その麻痺した部分がバーンと覚醒しちゃったの。それで、もつと自分を大事にしたい！ もう一回たりとも一方的に受け入れるだけのセックスなんかしたくない！ と思ってたら、離婚するしかなかった。セックスをしたくない時にしなくてすむ結婚だったら、離婚しなくてすんだかも知れない。
⑦ でも世間には、妻はセックスしたいのに男の方がしたくないという不一致のケースも多いはずなのに、この場にはないね。したくてもできない不満の方が、ガマンできることかな。

聞き手 佐藤雅美から

この東京で子どもを抱えて家賃を払い、生活していける女って、どんな人たちだろうと思っていた。きつと経済的な基盤ができてからコトを起こしたんだろうと思っていたが、そんなことはなく、バクチみたいなんだっけ。

でも六人の話を聞いてみると、だんだん離婚ってたいしたことじゃないと思えてくるのが不思議だった。

離婚後の男たちはともかく、女たちは活き活きと毎日を送っている様子も見取れた。再婚に関して聞いたら、「私プロポーズされてるのよ」「私も♡」とか言いながら、「でも、もったいなくて。せつかくのシングルライフをもっと楽しみたい」と答えていたの印象的だった。

最後に、私のパートナーって、なかなか上出来みたいということが確認できて、ラッキー！と、喜んでいる私である。

離婚特集

離婚経験者六人

による座談会

なんで離婚したか

① そう聞かれると困るね。相手が女をつくったとか、借金をつくったとかならわかりやすいけど、そういうことじゃないから。いろんなことが複合されてて、それを話そうと思つたら何日もかかりそう。
(一同) そうそう。
② 親や、うるさい人には許してもらえそうなのを言つたし、友達やまわりの人にも、その時々でいろんなことを言ってきた。別にウソを言ってるわけじゃないけど、それはすべてでもないし、本当の理由って、どつか別のところにある気がする。
③ 離婚の理由はこれ！なんて、カッコよく言い切れない。何を話せばいいの？
④ そういふもんなのよね、離婚して。
⑤ 結局、何で離婚したかと言うより、自分がどう生きていきたいかというものの現れにすぎないって言うか。
(一同) そうそう。それはあるわね。

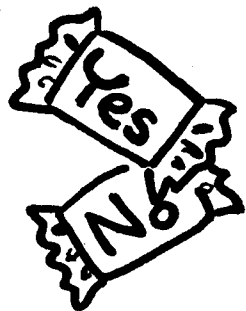
⑥ だけど、私は離婚を選んだ自分を肯定したい。別に、他人に離婚を勧める気はない。してもいいけど、良い方向にもつていくことはできるんじゃないだろうか。離婚を選んだ私に「強い」とか「勇気がある」とか「みないなことを言う人」もいたけど、誰だって自分の人生を自分で選んでいるのは同じでしょ。強いから、勇気があるから、別れを選ばないで自分の望む方向にもつていける人もいると思う。
⑦ ただ、役割を分担しあつたり支えあつて生きていくのは素晴らしいことかもしれないけど、それがどうしてもうまくできない人間やカップル、相性ってのもある。このへんを忘れて、離婚を選ぶ人を責めて欲しくないな。
⑧ 私は自分の足でしっかりと立って、そして歩きたいように歩ける自由と脚力を手にいれたかったの。でも最近、クルマを運転してる男の肩にもたれて、うっとりしてる夢みちゃった。すごい象徴的よね。だって、ほら、今は自分が運転者で、もちろんすつとく実感あるし楽しいけど、休みたくても代わってくれぬ人がいないシンドラサもあるわけだし。
⑨ 言いたい放題で助手席にドッカと座りこんで、時には居眠りしたり、なんていうお気楽な時代とは違うからね。

離婚の原因は自分に？

それとも相手に？

① 私、誰といつしよになつてもうまくいかなかったでしょうね。わがままだし、結婚に向いてないタイプかも。
② 性的役割分担にあんまり抵抗を覚えない人は、結婚に向いてるよね。私はいろいろと未熟な点は多々あつて、そのせいばかりとは言えないけど、根本的に相手の持つ性的役割分担指図を受け入れがたかった。
③ 私。うまくやっていけなかったことにしては相手に、もちろん自分自身にも問題があつたと思う。でも、男の抱えている普遍的な問題ってのもあるよ。例えば、女に母を求めるとか、女が自分の世界を持てると不安になるとか、女が社会的に評価されると強烈に嫉妬するとか。
④ 私は、離婚したいとずーっと思いつつて15年目の離婚。経済的な問題とか子どもの問題とか、思ひきれなかった理由も色々あつたけど、結局、流れに逆らうパワーが足りなかったのが主因よね。まわりには、「15年続けられたのに今さら」ってずいぶん言われたな。

⑤ でも、子どもが小さい、大変な時期だからこそ別れたという気はしません？ 私の場合旦那が自由業で、生活時間のズレが大きな問題のひとつだった。子どもの生活パターンとどうしても合わなくてサ。結局旦那じゃなく、子どもを選んだってことかな。



離婚—私のこと

世の中には、いろいろな人が居て、いろいろな生き方、考え方があつた。

離婚—もひとつの生き方だしひとつの考え方なのだから、それについて他人がとかく言えるものでもないし、又、当の本人があれやこれやとうんちくをかたむけることでもないと思うので、私は自身の離婚について、事細かに話したくはない。

離婚から現在の生活を得るまでに、私はたくさんの人達から、ありがた—い意見を頂戴した。それらの人達が、必らず口にする事ば—「あなたの気持ちもわかるけど、子どものことを考えたならがまんしなさい。皆、がまんしているのよ。」

離婚したいという女たちに対して周囲がまづ口にする事ば—「子どものために云々」。

それって差別だと思ふ。つまり、その人の心の中に、母親と父親が居てこそ普通—という概念がはびこつていて、そうじゃないものは「普通じゃない」「イコール、かわいそう」つていう図式みたいなものを隠し持っていて、普通じゃない生き方をしようとする女たちに、水戸黄門の印ろろよろしく、「子どもがかわいそう」つていうことを決定打のようにふりかざすんだと思ふ。

まづ、それも一つの考え方だけだ。私は、そんなことばの前で、ひれ伏しちゃうたりはしなかっただけで、どっちが正しいとかまづがっているとかいう次元の問題ではないよね。私は、かつて結婚していた間に、いろいろ

なことをした。公民館活動、絵本の読書会、あんふあんてのスタッフ、幼稚園の役員etc.。そして、仕事も。そういつた中で、たくさんの友だちもできた。とつても充実していると思つてたけど、その充実感って何かをおお—い隠した上にあることに気が付いたみたい。そのかぶさつておおいの中をソツとのぞいてみて、私が本当に求めているもの—それは、本当に好きな人としかかり向き合つて暮らしたい。女友だちと出かけるよりは、一緒に居る男と映画観たり、お酒飲んだり、ふざけ合つたり、何でも話したりしたい。「夫婦」ではなく、「男と女」でいたいって思つてくることに気が付いた。でも、時すでに遅し。しつかり「夫婦」だけやつていた夫には、私の気持ちを受け入れる、ほんの一ミリのすき間もなかったみたい。気がつけば、考え方も価値感もまるつきりズレていたつてこと。

子どもが小さくて手のかかる時期は、子どもの一挙一動に振り回され、子どものことについて話をするのが二人の会話であるように錯覚できたから何とかやつてこれたけど、子どもが少しづつ外に向つて歩き始めたとき子どもが抜きの私たちはお互いに「あつちむいてホイ、」してた。

そのまま当たらずさわらず、私は私でいろんなことをしながらそれなりに「夫婦」をやつてゆけばそれはそれで何とかやつてゆけたのかも知れない。

ただ、それが私にはできなかつたつてこと。自分の気持ちを押し殺して生きてたらちつ息してしまつて思つたし……。そのために、いろいろなものを捨て去ることになつたけど



良夫教育?

私の友人が離婚します。別れる事が決まつてホツとしたと言つていました。もちろん、子どもは引き取るそうです。理由は、他人の事ですからくわしいところは何とも言えませんが、無理があるのならやはり止めた方がいいと思ひます。

男達の思うような、そんな神様みたいな女性にはきわめて少ないし、そんな人がいたら私も嫁さんに欲しいくらいです。今までは女性のがまんできり立つてきた社会なのだから離婚が増えて当然前。でも、離婚が増えて困るのは男性(社会)の方だし、良妻賢母でなく良夫賢父の教育なんているのも、そろそろ必要なんじゃないかと思ひます(もうあるのかしら?)。

呼びかけ人 木道 から

あんふあんての古い会員と新しめの会員による座談会は、確かに木道宅で行われました。でも、内容に関してはかなり適当に加筆、デフォルメも加えてあるので、フィクションと思つていただいた方がいかもしれません。

これは「離婚」というのは相手もいるものだし、一方が離婚そのもの(そんなものもあるかどうか)わからない(が)のごく一部分の面(全容など語りようもない)について、一時的な感情で話したことを印刷物にして残したくない」という考えが、大きな理由のひとつになつています。んなワケで、匿名の座談会になつてしまつたも、勘弁してください。

ところで、加筆やデフォルメのせいばかりではなく、まとめてみるとかなりリブつぱいというかフェミつぱい内容を意気軒昂に話しているというムードで、反発を感じる人も少なくないかも知れません。私自身も、言い放つたままという感じで気になるので、この座談会に抜け落ちていた「離婚」の側面に関しては、またの機会に書かせてもらふことにします。



(M・H)

私は私に目を付けた
「妻にするなら、この女
戚は悪いし、賢いし
容姿、学歴、中の上
ところがどうい、この俺は
戚は、四十にあと一歩
腹は出つ張り、背は低く
色男には、ほど遠い
免許、学歴、何も無く
加えて財産、何も無い
それなら、いっそ騙したれ
こんな小娘、騙さ
一度(ひとたび)結婚しまえば
あとは、野となれ、山となれ」
私は、まんまと騙された
奴の正体、知るまでは
賢沢三味、着飾つて
まるで、気分はシンデレラ
ある日、電話がリンと鳴り
「家賃滞納、困ります」
続けても一つ、リンと鳴り
「利息を、早く振り込んで」
頭ブツツン、あの野郎
何と姑息な、嘘をつく
分譲マンション、賃貸で
サラ金三軒、借りまくり
負債総額、二百万
私は泣く泣く、虎の子の
定期百万、解約し
奴に、急場を渡がせた

離婚話を、しようにも
買つて謝料、何も無い
何より、哀れなこの男
「清まなかつた」と平伏して
二度と、嘘など吐かぬから
共に歩いてくれ」と言う
馬鹿か、阿呆か、この私
「あなたが、心を、入れ替えて
正直者になるならば
力を合わせて、今度こそ
二人の家を、買ひましょう」
思えば、この時離婚すれば
泥沼入らずすんだのに
朝から晩まで、働いて
やっと、貯つた、五百万
頭金には、まだ、半分
もう五百万、頑張るぞ
思つた矢先に、請求書
また、振り出しに、戻される
それでも、控へず、働いて
今度こそはと、また貯めて
貯める側から、運われる
信じる側から、騙される
騙される度に、鬼になり
離婚話を、切り出せど
へ理屈、奴の十八番
議論すること、一晩中
私、ぐつたり「もう、いいわ」
奴は、びんびん「まいったか」
死ぬほど「離婚」は、したいけど
「離婚話」は、したくない

奴と「話」をしたくない
だって、腹れるだけだもの
私の人生、こんなもの
それなら、いっそ、諦めて
住宅購入、目標に
せつせと、お金を貯めましよう
そんなこんなで、時は過ぎ
土地の値段が、急騰し
大空! 急いで買わなくては
東奔西走、家探し
僅かばかりの、資金にて
猫の顔を、手に入れる
ローン地獄に、突入だ
はた、その時、気が付いた
私の人生、こんなもの?
家さへ買えば、それでいい?
一生、こいつと、暮らすのよ?
顔を見るのも、厭なほど
いいえ、暮らせるわけがない
このままでいいわけがない
私の人生、これからだ
二十三から、六年間
馬鹿な生活したけれど
やり直すなら、今の内
話し合いなど、後無用さ
出て行つちゃった者の勝ち
家や土地など、呉れてやる
私は、自由を手に入れる
お金なんかじゃ、買えない
明るい未来を、手に入れる



子供に対してその当時一番心配したのが改姓でした。実際彼女にとっては親の離婚によりまず先に目に見える形で変化するものだったからです。家で私達の離婚について彼女が理解出来る範囲で何回か説明をし、それで名前が変わる事に触れました。保育園の方でも事前に先生に相談し、先生に上手くクラスの事で説明してもらい、皆に素直に「彼女のいる社会の中で偏見なく受け入れてもらったことで彼女自身が違和感なく自分の改姓を受けとめてくれた様です。本当に助かりました。」この「離婚」は自分自身の生き方を時間をかけ見つけ直す良い機会となりました。自らが「否定する価値感」で縛りつけている自分の存在を発見し、その自分に対し「人生何も怯える事はないんだ、自分の足で立つて生きて楽しまなくちゃ」と言える様になりました。現在やつと自分の足で生きていくことを学んでいるところです。長年培ってきた性格からはそうは離れられませんが、それでも昨日よりは今日、今日よりは明日と半歩ずつでも前に進んで行ければと思っています。何よりも自分のこれからの人生を泣いたり笑ったり素直に楽しんで行きたい（行ける）と思います。

以前にも離婚しようと思った。その時も、仲の良かった友だちが離婚した。彼女は子どもひとりだったし、実家に帰れたし、私は子どもが二人で帰るところがなかった。ひとりになって、仕事が見つかった。彼女はともてキレイになった。でもダンナのゆくえは知らない。私は相変わらず髪をみだして、子どもが三人にふえた。久しぶりに会った彼女は赤ん坊をみて、「いいなあ、また産んでみたいな」といった。私はメゲた。うちのダンナは悪人じゃないけど、生活には不向きな人だ。以前にくらべたらいくらかましになったとはいっても、私の気持ちには冷える一方だ。また、職場の友だちが離婚した。やっぱダンナは行方をくらまして、お金を送ってよこさない。二人の子どもを抱えて仕事を二つかけもちして、彼女は耐えている。私は三人連れて別れる勇気がない。生活力のこともそうだが、彼女らのように実家がフォローしてくれるあてがない。子どもを捨てていくことは、さすがに出来ない。ダンナの独断で北海道での同居が決まった今、仕事量を増やして必死に稼いでいる。もしもの時に、子連れで帰ってこられるように。何かの時に必要なのは、やっぱりお金だと思ふ。あてにできる人脈（金以外のことでね）があれば別だけれど、子どもはキラリじゃないけれど、やっぱり私は一人が好きなのだ。ということが分かってしまつて、一時はガッカリもした。今はダンナが仕事で家をあけているから、なんとかうまくいっているけれど、

いつかは離婚を

E・K

北海道へ帰ってしまったら、そうも行かないだろう。なのに帰ればすべてはうまくいくと思ひこんでいるダンナは、なにかこつけない気がする。どこかでやり直せるなら、昔に戻つてとは考えるけれど、やり直したらこの子たちではなくなってしまうような気がして、いつかは……と逃げ出すチャンスを狙っているところだ。



特集メンバーから

●編集メンバーの皆さま、言い出しっぺでありながら全々働けなくてスマヌノ原稿送ってくれた皆さま、座談会に参加くださった皆さま、多謝！（木浪）
●なにごととも体力ノ皆さんお身体大切に。なるようになさ、ホント。（石川）
●女の人七人いて、離婚してない人は私だけというの初めて経験でした。（佐藤）
●今回はスペースが足りなくなつたこともあり、子どもがどう親の離婚を受けとめているかという観点からの原稿はのせてありません。来月号（八・九月合併号）に回します。

離婚して：

中村

去年九月に離婚してから八ヶ月、心の中ではもう八ヶ月と言える部分と、まだ八ヶ月の部分と行ったり来たり。私自身の内面の八ヶ月よりも娘の目に見える八ヶ月の成長（振りが目覚しく小さな体で大きな支えとなっています）。

結婚生活を送っていた大阪より実家の（三重）に戻って来たのは二年前の八月。それから別居生活の一年を経て去年の九月にまず私が旧姓に戻りました。娘を中村の姓に変えるには煩雑な手続きを行わなければならず、それでも結構手際良く行なった成果（？）親子共々中村になったのは十月下旬でした。慣れとは怖いものなのか、有難いものなのか、「中村」「中村」と現在何の違和感も無く使っています。

離婚の理由と言うのはそれぞれの結婚生活の中で出て来るもので何が一番とは言えませんが、私の場合「先方の金銭感覚のルーズさ」から生活自体が不安定になって来たのが目に見える直接の原因となりました。その生活にも疲れ精神的にもぐちゃぐちゃになり、「このままではダメだ」と決心しました。

三重の実家に夜七時過ぎに電話をかけ兄に九時過ぎに迎えに来てもらいとり合えずの衣類を持って出ました。仕事の方は木曜の晩に出たので金曜は休み週明けの月曜より出勤しました。もともと当時アルバイトだったのでその週で辞める旨を伝え、五日間は大阪の友達の方に居候をし後始末をしました。この時点では顔を見るのも嫌でしたから、

物理的に同じ空間に居なくなり一時的に精神的には楽になりました。もちろん私には戻る場所（実家）があり、また商売をしているので事務の手伝いという形で経済的にもどうにか成り立っているという見通しがあつたことは大きな要因でした。精神的に一番ひどかつたのが別居を始めて三ヶ月頃から一年位でした。大阪での生活より抜け出すことを一年程考え続け、それを実行し別居という形になりました。一つの障壁を取り除けば明かに新たな世界へと直面します。その世界は只、慢然と思ひ巡らしていた世界ではなく現実性を帯びたまさに現実そのものです。ここで今迄の三十一一年間の私自身の生き方の総括をせざるを得なくなりました。それまでの人生、自分自身では一人で立ってきたと思つていたのですが、結局私自身の本質は違いました。常に受け身で誰かの陰に隠れて生きてきたかったのです。「誰かこのかわいそうな私を救ってほしい、私は不本意ながらこんな生活をしているのよ、私はここに居るのよ早く見つけて、早く早く私を連れ出してほしい」と、只心の中で叫び続けていただけなのです。つまり人生は何かしら怖いものだから母親のように抱いて守つてくれる人を持っていたのです。この怖い世の中を私は娘を連れて（娘と離れるのは本質的に嫌だと思つていたにも拘らず）生きて行かなければならぬだろうか？生きていくはずはない、どうしよう……この状況が目の前に迫つて来ます。それも避けられないものとして、この自己矛盾の中で何ヶ月か時には大声で泣き続けました。精神科



のカウンセリングに通つたのも、他者が解決策を示してくれるのでは？という期待が心底にあったからだと思います。結局両目を開けて現実を受け入れ生きて行くしかないことを悟り（おこがましい言い方ですが）ました。一人の人間として当たり前のことですが自分の足で立つて自分で歩いて行くことをやつとこの時始めました。この現実を受け入れた時先方に対するうらみ等がしだいに消えて行きました。只、元に戻るといふ事は二人だけの問題だけではなく縁類とも関わって来るのでやはり最終的には離婚を選びました。しかし実際には左手の薬指にしている結婚指輪（私を守ってくれる母親）を取るのにかなり思い切りが要りました。納得して取りはずしても何故か五年間の指輪の跡があるうちは精神的にもぐちゃぐちゃでした。

「あんふあんで」からあんふあんでへ

「あんふあんで」のおかけ

横浜市

どんどこん！載ってしまっただ朝日新聞、COMO、他チヨロチヨロ。あんふあんでやLAVIEでアクティブママを集め始め苦節一年。BBBもまたまた歩き始めました。コンサート企画やらフリーマーケットやらモニター紹介やら、よくもこんなだけ思いつくもんだと思っております。

平日あんふあんでに顔出ししたり、リスト見でお電話したり、あんふあんでを力いっぱい楽しませてもらっている会員ではベスト3に入るのではないのでしょうか。この三年間、あんふあんででたくさんの女性と知り合い、いろいろ勉強になりました。育児には全く自信がありませんが、親子共々遊ぶ、楽しむことには命をかけております。

あんふあんでの財政危機の報告はつらいです。こんなにたくさんのお母さんたちができ、ママさんサークルの作り方のノウハウを伝えてくれたのは、あんふあんでだから。今、こうしたらと結論は出ないけど、423人の全員で考えようよ。その中には私があんふあんでを紹介したメンバーもたくさんいるのだから。三年前から会っている親子ちゃん、まり子ちゃん、ちはるちゃん、知雅子さん等考えようぜ！個人的な叫びでごめんなさい。BBBも100人突破するかもしれないけど、あんふあんでに共感する方にはちゃんと話します。興奮のお便りでした。

犬好きな方へ

横浜市

犬が大好きな方もいれば、きらいな（苦手な）人間もいます。昔かまれた事がある、吠えられてとびかかれた事がある等で、きらいというよりも怖い気持ちで先に立つ話も聞いて下さい。

「公園内犬禁止」、フンだけの話でこれがあるとは思えません。娘を以前毎日のように遊ばせていた公園に、毎日十時半になると犬を連れて来るおばさんがいました。決して小型犬ではないのに、放し飼いにして。公園といつも児童公園のような所でしたので、よちよち歩きの赤ちゃんから幼児まで、大勢の子ども達が遊んでいました。その犬はどうも子どもとじゃれあうのが好きで、赤ちゃんと幼児問わずとびかかってきます。子ども達が怖さでにげまどついても、泣いていても、犬の御主人様はベンチで知らん顔です。「公園内で遊ばせるのは構わないが、子どもも遊ぶ時間帯にはつないで頂けないか」といった話を持ち出した（もちかけた）親がいました。その答えはこうでした。

「うちの〇〇ちゃんは、かんだりしないから平気ですよ。」
かんだりするとかしないとか、そういう事を言っていたのではなく、子ども達がいやがっている事はやめると言ったのに。
ご自分は犬が好きだからなんでもないでしょうが、近づくだけで血圧の上がる人間もい

ることをぜひ愛犬家の方々にわかってほしいかったです。たしかに、散歩させていて、「あつ犬だ！」という相手の表情で（私はたぶんそういう顔をするんだと思う）道の端に寄つてくれたり、放しても犬の名前を呼んで注意を引きつけてくれる方がほとんどですが、放し飼いにしても知らん顔とびかかっても知らん顔という方は「うちの〇〇ちゃんは大丈夫」の言葉を聞かせてくれます。どうぞ愛犬家の皆様、一人（？）でわんちゃんをお散歩させたりしないで下さいね。

横浜市のネットワーク「BBB」より、
保育部としてHeart Cube
（はあときゅうぶ）を作りました

横浜市

イベントその他のシッターや保母・幼稚園の先生だったメンバーによる企画の、親子で遊べるイベント、勉強会、人形劇などをどんどん行っていると思います。つきましては首都圏にてメンバーを募集します。特に保母さんや幼稚園の先生をしていた方など大歓迎です。もちろん資格のない方でもかまいません。正面から育児・教育を考えられる場にしたと思っています。切手62円分同封でぜひ問い合わせして下さい。連絡先は、常木

平和な時間のなかで思うこと

廿日市市

こんなにゆつくりした時間が午前中に取れるのかと改めて思うほど、のんびりしています。そう、長男、次男のお弁当が始まったのです。午前中に手紙が書けるなんて、ウソみたいですね。どんなにこの時間を待っていたことか！（へちよつと大げさですが）

密室育児だ！と知らぬ間に親子ともだけいていらしたのですが、探してみると結構発散する場であるのだなと思えました。例えば、公民館の母子教室（まだ行ったことはないです）、新聞や雑誌の投書欄、地域のミニコミ誌なんていうのもありました。TV（教育）でもみるみたいですし、幼稚園なんていうのもその一つですね。

別に反応はなくても、ただ自分と同じ様な子どもを抱えている母（女性）親がいるのだなと見つけるだけでホッとします。でも、その人との接点は「子ども」しかないのだから、なかなかでしょうね。それに、一度グループが出来てしまったところにはとても入れないし、新しい人は入れないみたい。ついでに、そんな排他的なグループには入りたくないです（へちよつと本音）。

ところで、湾岸戦争は終わったけれど、発火地点は広がったんじゃないかと思えます。平和なのは日本だけなのかナア。逆に、せめて日本くらいは平和憲法のもとに戦いのない（しない）国であってほしいと思います。やはり私も目下のところ関心事は「子ども」と「自分」です。フウーとため息。平和なんです。

図書コーナー

「わたしのからだよ」

木犀社

さく・ロリー・フリーマン

え・キャロル・ディーチ

※へいやなふれあいだいりきらい

（教則本）の二冊一セット・定価千円

東村山市

これらの本は、子どもを性的虐待から守るために製作された本です。女の子の三人に一人、男の子の六人に一人が十八歳までに大人となんらかの性的関係を持つアメリカ合衆国で書かれた本ですが、政治・経済から一般風俗までアメリカがくしゃみをすれば日本が風邪をひくという情けない（？）有様です。大変参考になります。

宮崎事件の場合とは異なり、アメリカでの性的虐待のケースの75/85%の子どもは加害者と顔見知りで、子どもの信頼が加害者の武器という恐怖！そして加害者は専門家のカウンセリングを受けるまでその犯罪をやめることができないため、被害者が親に告げる能力があり、親が警察に通報することが重大とされています。表現力が乏しい子どもが加害者にはつきり「イヤ」といえる訓練、不幸にも虐待を受けた場合に信頼できる大人に訴えられる訓練の方法が、具体的に示されています。私が面白いと思ったのは、この本が子どもの心身を守る方法だけでなく、広く生き方の問題にまでふれているところ。



わたしのからだよ！

いなかふれあいだより

映画には、強制連行されたインドネシア人や泰緬鉄道の元職長ら十二人が語る生々しい強制労働の証言や遺骨発掘の様子、「戦場にかける橋」で有名なクワイ河鉄橋の八本の橋脚のうち三本にも遺体が埋まっている証言も登場する。朝鮮人従軍慰安婦ら日本のアジア諸国への戦後補償のあり方が強く問われている今、「アジア人に対する償いの一つになる」と思い映画を作った」と中村さんは語るように、未だに戦争処理が終わっていない事実を突きつけている。

●映画の内容
第二次世界大戦中、タイとビルマ間に敷設された泰緬鉄道は、一九四二年七月五日に着工され約十五ヶ月をかけて完成させられた。工事期間のうち十ヶ月が雨期に見舞われ、旧日本軍に強制連行でかり出されたアジア人（ビルマ、タイ、マレーシア、インド）労働者たちは、マラリヤ、栄養失調等の病気や過酷な使役で犠牲になっていった。その数は四万とも十万とも言われ、「広辞苑」によると連合軍捕虜一万二千三百九十九人、現地労働者数万人が死亡、国際的非難を招いたと記されている。

『死の鉄路―残されたものたち』について

●映画の内容

へ新入会員自己紹介コーナーへ

●幼児の会に入り、そのリーダーだった中川さんから紹介してもらい入会しました。
●もうすぐ三才になる娘がいますが、子ども連れで行ける講座・コンサートなどが欲しい。それと、再就職についてぜひ取り上げて欲しいです。
●五月の連休に、横浜で憲法劇を見ました。PKO問題、日の丸・君が代の問題、従軍慰安婦の問題、過労死の問題、校則の問題、これらをすべて日本国憲法の視点から捉えて考えるという劇でしたが、久しぶりに胸を揺さぶられる劇を見ることができて嬉しかったです。これらの事をいろいろ勉強したいし、子ども連れでも徐々に行動していきたいと思っています。

グループ報告

へ大田区グループへ

●『死の鉄路―残されたものたち』の上映会
一九八七年から毎年テーマを決めて開いている家庭教育学級（教育委員会がグループに委託する講座）の中で、九一年度は「家族つ

●前に住んでいた保谷市の児童館の講座で、「あんふあんて」の川崎さんとお話をされたことからこの会を知り、中野に引っ越しして入会しました。グループリストを見て、「SS」に連絡を取り入りました。
●リサイクルや環境問題に興味あり。といっても具体的に何から始めればよいのか分からないのですが。
●最近、託児付きのエアロビクスを始めました。運動不足の私には大変だけれど、いい汗かいてます。でもこの頃、長女（三才）とぶつかることが多くて、育児（自）のむずかしさを痛感しています。自分がやりたいことを少しずつ始めようと思っています。

てなかに」を取り上げた。その中の昨年十一月九日の福島瑞穂さんの講座に「泰緬鉄道」の映画を製作した中村秀樹さんが参加者で来ていて、その場で映画の紹介を受け講座終了後に話を聞いたことから、上映会へ向けて動き出した。今年の新年会の後四名のメンバーが話を煮詰めていき、三月八日（日）大田区立新井公会館で午前十時開演が決まった。
●思い起こせば六年前、一九八五年十一月の「中絶―北と南の女たち」上映会で大いに盛り上がった私たち大田区あんふあんてのメン

●「分限免職処分」を受けた中村さん
千葉県鎌ケ谷市内の小学校教諭の中村さんは、一九九一年十月十六日「教員にふさわしくない」という処分、即ち「分限免職処分」を受けて公立学校教員としての地位を剥奪されてしまった。理由は「教員公務員としての職務を遂行するに必要な適格性を欠く」としたもののだが、当日県教育委員会関係者が突然中村さん宅に押しかけ、辞令を読み上げた事の一部始終を写したビデオを見た。有無を言わさぬ強引な態度をとる教育委員会と中村さんのやりとりは、実にインパクトのあるものだった。

●現在中村さんは「中村さんの分限免職処分を許さない会」のメンバーとともに上映会の会場で支援を受けている。

●観客の声（アンケートの一部を紹介）

●パンフレットやチラシを各所に配布したが果たしてどのくらい参加者が集まるだろうか、誰もが不安に思っていたが当日は十代、七十代の幅広い年齢しかも女性、男性にも片寄りがなく六十名の参加をみた。声を拾うと「泰緬鉄道」のことは知らなかった。日本政府は戦争の事実についてもっと明らかにすべきだと思った（40代・男性）
●もはや日本人は知らなかったでは、すまされない。第二、三弾と追求できる所まで記録してほしい。併せて日本側（政府当時関係者）の追跡記録がほしい（20代・男性）
●以前から学習していたが、映像はやはり強烈。途中何回も地図が出てわかりやすかった。（30代・女性）

●何も語らないディアさん（インド人労働者）の気持ちや胸が痛みます。何も知らずにここまで生きてしまったという思いと、子供たちにもぜひ見せてやりたいと思った。（40代・女性）
●日本の侵略に対して、アジアから告発が続く中で、日本人の立場から侵略の歴史を掘り起こし訴えていく必要性を感じています。映画制作の趣旨に共感。（30代・男性）
●何かをなしとげるにも正を主張するには、いろいろの難関や反対する人もあります。風化しつつある戦争の悲劇を伝え平和の尊さを二十一世紀に遺す記録の実証は立派。（60代・男性）
●私は昭和十四年（十六年頃、北京の陸軍病院で働いていたものです。すごい場面を見せていただき本当に驚きました（70代・男性）

●「火曜あんふあんて」が消滅すること、実にさみしい時期が続いていた。今回この上映会にかけの意気込みに並々ならぬものがあつたのは、誰もが認めるところ。特に中心となつた四名は、パンフレットやチラシの手配および依頼先への挨拶などの他、当日の担当者を手順よく決めていった。料金はコピー付きで800円。映画終了後、製作者の話の前にコピーを出すことになった。
●映画会終了後興奮さめやらぬうちに反省会へ移ったが、「映画の内容を知らなかっただけにショックを受けた」「これだけの貴重な映像をよくぞ製作してくれた」「知らされずにきている私たちが、もっと知る努力をしていきたい」「最近活動していなかった私たちが、実行力があることを確認できた」「各種の広報機関で知った参加者が予想以上で、広報の大切さを痛感した」といった声があがった。何よりも、連合軍の墓碑に刻まれた。許そう。しかし忘れまい。の文字は参加者全員の心に刻み付けられたことは確かだ。これからのような映画に出会い、事実を知っていったらと思っている。
●久しぶりに盛り上がった上映会に続いて、今年度は「国際化とわたしの生活」をテーマに六月・十二月までの半年間、家庭教育学級を開催する予定。乞う期待！
●また、以前「火曜あんふあんて」と区別する意味で「日曜あんふあんて」の名称を使用していたが、現在は「グループ」のため、「あんふあんて大田区グループ」に改称する。



●なお、上映、フィルムの購入は共生舎へ問い合わせを ☎ 〇四七一一七六―四六六六。学校の教材としても使えるように四十五分になっている。ぜひ、各地で上映会が開かれることを願ってやみません。

へ大阪あんふぁんて

第二回親子フェスティバルを終えて

八尾市

私は昔から自分をオッサンだと思ってきた。人づきあいがニガテ、同じことをするのがキライ。気に入らないとムツとくる。一人でいるのが何よりスキ。当然子育てなんて向いてない。こんな私が子ども達の前でマイクを持ってしゃべってる。親子フェスティバルなんてオシリのカユクなような事を、スタッフとしてだなんて自分で言いながら司会をやっている。これって何。

こんなトンデモないことしかずハメとなつたそもその原因は、二年前の春、図書館の講座に三ヶ月の乳児を抱え、まだ歩く足たよりない三才の子を連れて来ていた元氣(へ)宇宙(へ)人、笹谷(へ)である。それだけでもスゴイ事なのに、「二週間前に松戸から引越して来た」のだと言う。

「な、なんだこの人は」。それから会うごとに彼女の精神的な仲間捜しとマメなネットワーク作り、オッサンは心から驚いた。尋ねると、どうもそれは「あんふぁんて」なるものによるらしい。

彼女にない会報を頼りに電話をかけてみたのが肥下(へ)夏。なんだか彼女もとてもなく元氣。味をしめたオッサンは里(へ)人捜しに出かけ、色んな人に出逢うことになる。オッサンは学生の時から、こんな仲間になんて逢っていない。

その昔、勤め始めた頃、男女の役割分担に

心から仰天した。自分は女で、だから平等に人間だと思っていたのだが、どうもそうではないらしい。「社会」っていうとつてもなく大きな岩があり、その下でベシヤンコになっている自分。言いたい事は言わずソツなく上手に「女の子」としてツルツルと生きる術を身につけたっけ。

「私はオッサンだ。どうして悪い」と大きな声で言う(へ)ここれってオバサン(へ)、聞いてもらえ(へ)仲間がみつかった。

そうして五月三十一日、その仲間達と第二回親子フェスティバルを迎えることになった。入場者は大人三十六名、子ども四十三名と、目標を達成。少しホッとしたところで、第一回をやり(へ)と話が出た時のスローガンを思い出した。「親子でムネは(へ)つて出られるトコないし、何か作(へ)ちやおう」だったなあ。疑い深いオッサンは「ほんまにそんなんでできるんかいな」と、懐疑的であつたけれども。

絵本の仲間による指人形、エブロンシアター、紙芝居、セミプロの人形劇。子ども達の目がキラキラして(へ)たつて。後半の一時間は大人のためのティーブレイク。紅茶に手作りのクッキー、おいしかったなあ。心ゆくまで話してもらえたかなあ。

何かやろうよ、おもしろい人見つけようよ、みんなよつといで。ああオッサンがこんなこと書いてる。

あんふぁんて不毛の地と言われた大阪で、小さな始まり。また子連れで怒りちらしな(へ)らも仲間(へ)逢いに(へ)行こうかな。泊まりの遠足しようかな。またお祭しようかな。

へあんふぁんての本を図書館へ

●本の寄贈について報告します

昨年「密室育児からの脱出」を図書館へ！と呼び掛け、いくつかの図書館にリクエストや寄贈の形で置いてもらいましたが、今年に入ってからいくつかの図書館・女性会館に置いてもらえました。

(へ)内はリクエストや寄贈をした人です。

「密室育児からの脱出」

※福岡県
福岡市立西市民センター(さん)
福岡市早良市民センター(さん)
※千葉県
市川市行徳図書館(さん)
市川市女性会館(さん)
※栃木県
黒磯市図書館(さん)
大田原図書館(さん)
西那須野図書館(さん)
※お産サイドブック
※東京都
豊島区立駒込図書館(さん)

今の社会には情報があふれているのに、本に「私自身」に必要な情報もあふれているのに、少ないのではないだろうか。ナマの付き合い合(へ)いの中から得るものが一番だけれど、それが無理なら、あんふぁんての本の中から捜して欲しい。自分なりのやり方をみつけるきっかけを。

へコラム

「地球」を考える

その⑩

修理して使うなんてダサイ？

新宿区

五年程前、それまで乗っていたサイクリング車が盗まれ(へ)六万円位だったかなあ(へ)しかたなく中古で八千円の自転車を買った。一年程は良く乗ったが、カバ(へ)もかけずに後は(へ)ついたらその内パンクしてしまった。

今回、娘の幼稚園の送り迎えに自転車を(へ)使うことにした。新しいのを(へ)買おうかとも思(へ)ったが、粗大ゴミにしてしま(へ)つては東京のゴミが増えるばかりだと自転車屋さんに修理に出した。型は古いしどこもかしこもサビだらけ、タイヤ前後で一万円、ベルが千円、ライトが二千円、輸入自転車が一万五千円位で買える事を考えると修理して(へ)でも使(へ)うて今の世の中では(へ)バカらしいことな(へ)のだなあ(へ)という(へ)ことが(へ)つくづくわ(へ)かった。か(へ)とい(へ)つて(へ)ダサ(へ)く(へ)つても(へ)ゴミを増(へ)やしたくないし……

六年前にも(へ)らつたテレビが(へ)なく(へ)なく(へ)緑(へ)っぽく映る(へ)ようにな(へ)つた(へ)ので、(へ)近くの電気屋さんに修理(へ)に来て(へ)くれる(へ)よう(へ)だ(へ)ら(へ)忙(へ)しい(へ)からと断(へ)られた。八年前の冷蔵庫、壊れたガラス棚は部品がない。半分つかないオーブン(へ)ストーブも、電源の接触が悪いワイプロも(へ)機種が(へ)ど(へ)ん(へ)ど(へ)ん(へ)性能(へ)良(へ)くな(へ)つて(へ)い(へ)く(へ)なあ(へ)消(へ)す(へ)とい(へ)や(へ)な(へ)臭(へ)いが(へ)き(へ)つ(へ)く(へ)な(へ)つ(へ)て(へ)きた(へ)ファン(へ)ヒーターも、(へ)みんな(へ)みな(へ)な(へ)使(へ)い(へ)捨(へ)て(へ)な(へ)の(へ)だ(へ)ら(へ)う(へ)か？

いくら日本の経済が、百円ライターのように使い捨てで成り立っているとはいっても「壊れました、ハイ次ぎ」なんて簡単に捨ててしま(へ)つて(へ)いい(へ)の(へ)だ(へ)ら(へ)う(へ)か？(へ)なん(へ)だ(へ)か(へ)と(へ)つ(へ)ても(へ)悲(へ)しい。修理して(へ)でも(へ)使(へ)う(へ)という(へ)のは(へ)ウチ(へ)だけ(へ)なの(へ)だ(へ)ら(へ)う(へ)か？(へ)貧(へ)乏(へ)性(へ)な(へ)の(へ)か、(へ)欠(へ)けた(へ)茶(へ)碗(へ)や(へ)柄(へ)の(へ)取(へ)れた(へ)ス(へ)プ(へ)リン(へ)を(へ)接(へ)着(へ)剤(へ)を(へ)付(へ)けて(へ)ま(へ)で(へ)使(へ)う(へ)つ(へ)て(へ)や(へ)つ(へ)ば(へ)り(へ)時(へ)代(へ)お(へ)く(へ)れ(へ)で(へ)ダ(へ)サイ(へ)の(へ)か(へ)な(へ)あ？(へ)それ(へ)に(へ)し(へ)て(へ)も(へ)修(へ)理(へ)つ(へ)て(へ)お(へ)金(へ)か(へ)か(へ)る(へ)な(へ)あ。

情報コーナー

★夏休み合宿に行きましょう。

大阪のメンバーが「しあわせの村」で合宿して楽しそうだったし、東京方面でも久しぶりに一泊合宿をしたいと思(へ)います。

●7月29日(休)30日(休)

●場所は以前にもあんふぁんてで行った事がある秋川です。(へ)JR武蔵五日市駅からバスで5分、又は徒歩で15分)

●参加費(宿泊費十二食)は大人3100円子ども2350円。

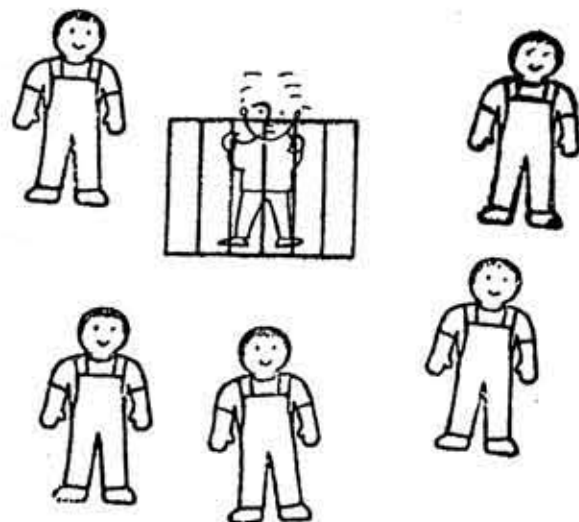
●旅行シーズンなので部屋がとれない可能性もあり(へ)ますが、(へ)とり(へ)あ(へ)え(へ)ず(へ)申(へ)し(へ)込(へ)ん(へ)で(へ)み(へ)ます。希望者は大至急(へ)7月10日(へ)金(へ)曜(へ)日(へ)ま(へ)で(へ)に(へ)事務局に電話(へ)く(へ)だ(へ)さい。定員あり。

★杉並周辺シスターズ(SSS)の

おしゃべり会

7月22日(休) 11時から(へ)い(へ)から(へ)会(へ)員(へ)の(へ)広(へ)瀬(へ)さん(へ)宅(へ)へ(へ)JR・地下鉄東西線中野駅南口から徒歩(へ)で(へ)や(へ)り(へ)ま(へ)す。子連れ歓迎、井持持参、雨天決行。気軽に参加してください。申込は20日(休)まで(へ)に(へ)。

※広瀬さん宅の地図は、先月号(へ)六月号(へ)情報コーナーに載っています。参照して下さい。



あんふぁんての新年度 どんな風を吹かせましょう

「来期案決定会員交流会を開きます！」
来期案アンケートの回答をもとに、これからのあんふぁんての方向を決めていきます。ぜひ参加してください。

★日時：8月26日（水）10時半～2時半

場所：中野区女性会館保育室
（グループリストに地図が載っています）
参加希望者は8月20日（木）までにハガキか電話で事務局まで申し込んで下さい。

アンケートの回答を見る限りでは、ほとんどの会員が「なんとかを会を存続させたい」と思っているようでした。そして、「口コミや雑誌等を使って会の存在をPRするとともに、会員や一般の人が参加できるあんふぁんてらしいイベントを企画する」という意見が多かったようです。アンケートの報告は次号で詳しく行いますが、あなたもできれば具体的に何が出来るか、考えてきて下さい。

なお、仕事などで昼間の交流会に参加できない人のため、土曜あんふぁんて等でも同じテーマで話し合う予定です。

中野に集まらない地域の人たちもこの8・9月を「あんふぁんて月間」と考え、県内のメンバーで集まって、自分達に何が出来るか、何をしたいか、考えてほしいです。よろしく。

事務局から

●あんふぁんてがテレビの取材を受けました。マスコミの取材はこちらの活動意図をきちんと伝えてくれるケースが少ないので、かなり消極的になっていたので、今回「孤立して悩む育児中の母親が密室育児から脱するには？」といったテーマだったので、受けることにしました。東京近郊でしか放映されないし、こちらの思うような内容になっていないかわかりませんが、「あの人はこんな顔だったの？」と思いついて見てください。

★放送は8月13日（木）午前9時～9時半
『ファミリー東京』（テレビ東京・東京地方では12チャンネル）という番組です。

●事務局の夏休みは8月4日（火）から19日（水）までです。その間の事故の連絡等は手紙をお願いします。

●6月末の会員数は四一七名です。

スケジュールメモ

- 7月15日（水） 定例会 （中野女性会館）
- 7月25日（土） 土曜あんふぁんて （神楽坂・子どもぬき）
- 8月3日（月） 8・9月合併号発送作業 （神楽坂）
- 8月4日（火） 19日（水） 事務局夏休み
- 8月26日（水） 来期案決定会員交流会 （中野女性会館）

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分（なるべく少額切手で）を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六カ月（三千元）以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTEしもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月々金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れていた方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。